

被災地支援



漁師の方々の使う定置網の修復作業

〈南三陸町・2011年9月23～25日、10月6～9日〉

津波被害により約900名の犠牲者を出した南三陸町(宮城県)に、塾生ら30名が入り、がれきの撤去や定置網の準備などのボランティア活動に従事しました。南三陸町では、町役場の防災庁舎も津波に襲われ、30人の町職員が殉職されています。ボランティアに行ったのは震災の半年後でしたが、まだ鉄骨がむき出しになった建物やがれきの山があちこちに放置され、復興は進んでいませんでした。

生々しい災害の跡を目の当たりにし、「被災地のために今後何をなすべきなのか」、「ボランティアはどう役立つのか」、「『人のために働く』とはどういうことなのか」…ひとり一人が多くの問いと向き合う貴重な機会となりました。

エコツアー



夏休みには、自然体験をしながら交流を深めるエコツアー合宿を実施しています。禅寺での宿泊体験や、登山・キャンプ・カヌーといった野外活動、環境問題をテーマにしたワークショップなど、さまざまなプログラムを組み合わせ実施します。

喜治塾ネットワーク



2011年12月には100名近いみなさんが集まり交流。

公務員として活躍する塾OBが、塾に集い、情報交換をしようOB会を開催しています。毎年、喜治塾出身の公務員のみなさんが多数集まってくれます。喜治塾では、公務員になったみなさんとのおつきあいを大事にし、塾で学んだ皆さん同士が行政の現場でも情報交換をできるような関係をつくっています。同時に、喜治塾自身も一民間企業として、一国民としてさまざまな情報を発信し、行政の現場で頑張る塾OBの皆さんを支援したいと考えています。